



K中通信

学校だより 12号
令和3年2月19日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>



運命は 笑ひ待ちをり 卒業す

高浜 虚子

校長 星野 久美子

「2月は逃げる、3月は去る」と言われる年度末を迎えました。3年生のみなさんに最後に紹介するこの句は、少し不気味でもあります。卒業した後に待ち受けている運命は、どうして笑っているのでしょうか？

今号では生徒のみなさん、保護者、地域の方々にご協力をいただいた学校評価のまとめを掲載しています。With コロナの社会の中で様々な変化が必要とされた1年でしたが、ソーシャルディスタンスや咳エチケットなどの生活様式を、まだ当分の間継続していかなければならないと言われています。前例のない手探りの状況での活動を振り返り、評価することで次の年への取り組みを決定する大事な時期でもあります。

学習面を振り返ると、今年はコロナ禍のため授業参観が実施できなかったことが残念でしたが、授業研修週間では子どもたちが「主体的に学ぶ」ための授業や、ICTを活用した授業研修を行うことができました。日ごろの授業での実践を通して生徒たちが楽しく授業に取り組む姿が見られました。

また、豊かな心を育む面では、地域交流活動や職業体験学習がコロナ禍のため実施することはできませんでしたが、職業講話を通して、様々な職業の世界を知り、自己の進路選択や生き方を考えることができたことは良かったと思います。校外行事は1年鎌倉遠足、2年山梨自然教室、3年東北修学旅行を通して、人とのつながり、自然、歴史に触れる体験の機会を確保することができました。

健やかな体を育むという面では、日常生活において横浜市立学校ガイドラインを遵守し、感染症予防対策を確実に行うことができましたが、継続していくことが大切であると感じています。生徒の活動としては、保健委員会で、睡眠の効果の動画を生徒が主体となって作成し、全校に発信することができました。また、体育祭は例年よりも短縮での開催になりましたが、競技の精選を行うとともに練習を通して健康な体づくりに貢献することができました。

様々な教育活動に対してご理解、ご支援いただきましたことを感謝申し上げます。

Pink Shirt Day

2007年、カナダのハイスクールで、男子生徒がピンク色のポロシャツを着ていたことをからかわれ、暴行を受けました。このことを知った上級生たちが、ピンク色のシャツや小物を身に付けて「いじめ反対!」の意思を表す行動を起こしました。現在、カナダでは2月の最終水曜日を「Pink Shirt Day」として、多くの人たちがピンクのものを身に付けることで、「いじめ反対」のメッセージを送っています。

今年は2月24日(水)ですが、単にピンクのものを身に付ける日ということではなく、「いじめ反対!」の意思表示を大切にしたいものです。

